



宇部市 現代アートを巡る多美

～大学生とともに作った“彫刻の街あるきマップ”～



(製作) 2020年3月



山口県立大学国際文化学部

異文化交流研究室

地域実習宇部彫刻ウォーキングツアー班

国際文化学科3年:後藤綾乃

同2年:太田理子、中野未森、野津聖夏



NPO法人

にっぽんing協会

にぎわいまちづくりチーム

(協力)



宇部市

UBEビエンナーレ推進課

ときわ公園課

市制施行100周年記念
事業推進課

野外彫刻と宇部の自然・街を楽しむ……

それは、一人で、あるいは誰かと一緒に

彫刻を巡り、彫刻のある風景と一体化すること

4つの 体感する“彫刻の街あるきマップ”を考えてみました。

- ① まちなか彫刻巡りルート“インスタ映えウォーキングMAP”
- ② まちなか彫刻巡りルート“彫刻×カフェ ウォーキングMAP”
- ③ ときわ公園の彫刻で遊ぼうルート“二人で満喫！ ゆっくり散歩MAP”
- ④ ときわ公園の彫刻で遊ぼうルート“親子で散歩MAP”

(発行日) 2021年3月

(発行) NPO法人にっぽんing協会

現代アートを巡る^{たび}多美

山口県宇部市は彫刻のまち。

「町を歩けば彫刻にあたる」といわれるほど。

「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」は世界で最も歴史が長い彫刻展だとか。

芸術マニアだけでなく、多くの人が日常生活の場で彫刻を楽しむまち宇部。

その魅力をルート別に紹介します。

- まちなか彫刻巡りルート: 2ルート
- ときわ公園の彫刻で遊ぼルート: 2ルート

さわやかな風、季節の花々、こころやすらぐ風景の中で

少し遠回りをして、自然の中で心と体の健康づくりをしてみませんか。



一人で、二人で、友人やご家族でのひとときを

山口県立大学国際文化学部異文化交流論研究室

現地調査時撮影(2020年3月)



まちなか彫刻巡りルート “インスタ映えウォーキングMAP”

大学生が歩いてみた彫刻のイメージを紹介します。
いろいろな撮り方をして、彫刻を楽しんでみてください。
インスタ映え間違いなし！

【スタート地点】 琴芝駅または宇部新川駅、 【所要時間】 約1時間



START

1



Heartfull
Communication
菊竹清文

中央のくぼみに顔。
どんな表情？

ウェーブが動いて
心地よいリズムを刻
みます！

2



アルウィン・ニコライ
の陽一<眩驚>
土田隆生

3



The Man
Konstantin SELIKHOV

上にのってるのは？
ドーナツかベーグルか……

4



あるポーズ
桜井祐一

5



座る女
柳原義達

第1回現代日本彫刻展で
宇部市賞受賞作品！

足を交差して
座っている女性。
何を見てるのかな

6



風景の抜け殻
重村三雄

抜け殻の大きさに
最初はびっくり……！

7



構想計画—新都市
石黒鏑二

傾いているのは、
なぜだろう

8



空を行く2005
西野康造

実はこれ、風の力で
動くんです！

大首Ⅲ
吉野辰海

9



大きな大きな犬の首は
イチオシの彫刻です！

宇部産業祈念像
山内壮夫

10



産業と緑の街“宇部”の復興のシンボル。
男女がもつスコップの柄から若葉が……

【作品紹介】

① 「Heartfull Communication」



菊竹清文

ウェーブを描く横棒が水平に回る、動く彫刻です。正面の郵便局のドアと連動されていますので意外性があります。ウェーブの運動感に心地良いリズムが生まれて、建物と一体となって不思議な感覚にとらわれます。作家は、「建物と利用者の良好な関係を視覚化した」と言っています。

③ 「The Man」



Konstantin SELIKHOV

面白い形のポールにドーナツがのっています！見ようによってはのっぽの人間に見えます。作品のタイトルから判断するに確かに人間、それも男性なのですね。作家によれば、「ザ マン」は、具体的な人というよりも自然と一体化した存在を表現し、人と自然をつなぎたいという願いを込めているとか。

② 「アルウィン・ニコライの陽-〈眩驚〉」



土田隆生

人間を表現している面白い形のモニュメントに近寄ってみてください。両手足をぐっと伸ばしてそり上がったアルミ合金製の人体部分の上部中央に顔があります。じっくり顔の表情を見てください。その驚きの表情を見詰めていると、突然モニュメントが生き生きとしてきますよ。

④ 「あるポーズ」



桜井祐一

不思議なバランスがとれた下半身に目がいきます。手と足が微妙な位置で地面につき、体の重心をうまくとっているのが分かります。でも全体として見ると心地よく均整がとれています。何かを見ている女性の顔の表情も味わってください。作家は戦後具象彫刻の旗手の一人で、この作品はエポックメイキングなものだそうです。

⑤ 「座る女」



柳原義達

5年間の渡欧から帰国した直後に制作した作品。両足をぐいと交差させた大胆な構図と足先から感じる躍動感は、女性を生き生きとしたものにしています。作家は戦後具象彫刻界の実力者です。この作品ではあえて細部の表情を省略していますが、それが神秘性を生み出しています。

⑦ 「構想計画一新都市」



石黒鏘二

市内真締川沿いを歩いていると、並木の間に忽然と小さな、超高層ビルのオブジェが出現します。タイトルの「構造計画」とは、土地の地盤などを考慮して使用目的に合った建築物の構造を決めていくことです。でもタワーがピサの斜塔のように傾いているのは何故？タワーの隣に立てば、ガリバーの気分になれ、インスタ映えますよ。

⑨ 「大首Ⅲ」



吉野辰海

市内真締川沿いに出現する巨大な犬の首。作家は、1960年代、反社会的で、ハプニングやパフォーマンスを重視したネオ・ダダに所属。1980年代からは犬をモチーフに、ユーモアとアイロニーに満ちた立体作品を発表してきました。道ゆく多くの人が思わず写真を撮らずにはおれない作品で、インスタ映えること間違いなし。

⑥ 「風景の抜け殻」



重村三雄

柱上部にいるのは、逆さになったセミの抜け殻。作家は70年代に東京・銀座のショーウィンドーに実在の人間を型取った作品を展示して道行く人を驚かせていたそうです。「風景の抜け殻」の意図するものは何か、作家は語っていませんが、あなたは何かを感じますか？

⑧ 「空を行く2005」



西野康造

風で動くこの彫刻は、形がさまざまに変化していくので見飽きません。三つの回転軸が個別に動くので、全体の形が伸びたり縮んだり、広がったり、重なり合ったりするのです。作品を見上げると、背後の空が大きく見えます。空の高さと青さが彫刻と見る人々をやさしく包んでくれて、自然を、季節を感じさせてくれます。

⑩ 「宇部産業祈念像」



山内壮夫

戦後の復興記念ともいべきモニュメントです。男女が持っているスコップの柄が植物となって若葉を出しています。この若葉は、公害のない街づくりにむけた市民運動の始まりを象徴しています。産業都市として発展してきた宇部市は当時日本でも名高い煤塵の降る町でした。現在、宇部市は「緑と花と彫刻のまち」としてグリーンシティに変貌しています。

まちなか彫刻巡りルート

“彫刻×カフェ巡り ウォーキングMAP”

宇部新川駅から真締川周辺にはたくさんの彫刻があります。近くにはひと休みできるカフェもあります。そんなウォーキングコースを巡ってみませんか？
今まで気が付かなかった彫刻の魅力が発見できるかもしれません。

1

復興のシンボル
緑の街“宇部”

Start

そりのあるかたち
澄川喜一

大きなおにぎりに
かぶりつきたい！

3

しばられたピラミッド
速水史朗

地球の明日が見えますか？
重村三雄

不思議な3人組！
あなたが4人目になって
写真を撮ったら？

5

メッセージ
二口金一

手足をつないで
回転する3人の女性。
メビウスの輪ですって！

4

循環・メビウス
後藤良二

【スタート地点】宇部新川駅、【所要時間】約1時間半

真締川

宇部市立図書館

渡辺翁記念会館
文化会館

JR 宇部新川駅

ANAクラウンプラザ
ホテル宇部

宇部市役所

新川大橋

宇部中央銀天街

平和通り (シンボルロード)

興産通り

山陽小野田市

カフェ

(1) ピアニッシモ (0836-21-0141)	(2) BENCH (ベンチ) (0836-39-8378)	(3) じゃがいも (0836-33-3357)
(4) カフェ126 (0836-39-8979)	(5) ポレポレカフェ (0836-38-8911)	(6) カフェテリアトレボル (080-2893-6833)
(7) ふくろうカフェ (アウル之城) (0836-38-8688)	(8) カフェKiKi (0836-37-1400)	

鏡みたいに、
いろいろな風景を映し出します。
変ポーズをしてみるのもアリ。

6

SEED 増殖
伊藤憲太郎

テレビ番組に
取り上げられたこともある作品！

7

Rond
黒川晃彦

かわいらしいサイズ感に
一瞬でトリコになること
間違いなし！

8

飛び石
福岡道雄

空がうつって幻想的。
自分の顔も映ります。

10

双極子
多田美波

宇部市と言えばこの
人物！

9

渡辺祐策翁像
朝倉文夫

【作品紹介】

① 「そりのあるかたち」



澄川喜一

宇部新川駅の前にある高さ3mの巨石とその2倍の広がりをもつステンレスの翼は、大きく羽ばたく宇部市の未来を象徴しているかのようです。市の根幹を現している土台部分は白御影石で、その左右面と正面は表面加工の違いで別々の表情を持っています。左右の面は石材の割れ肌のままで、正面には磨かれた二筋の切れ込みが斜めに入っています。

③ 「しばられたピラミッド」



速水史朗

細く黒い線条の模様は、日本瓦の製作技法による独特な土器、黒陶です。本体部分は石彫で、作者は黒陶と石彫からなる作品を得意としています。タイトルは「しばられた」と「ピラミッド」です。縛られた感じはすぐに分かるのですが、どうしても「おにぎり」にしか見えません。みなさんにはピラミッドに見えますか？

② 「地球の明日が見えますか？」



重村三雄

インパクトのつよい作品です。絶滅した恐竜の巨大な足と頂上にちょこんと手をそろえて愛敬をふりまく動物、プレーリードッグ。タイトルからみてプレーリードッグは人間を現しているように思われますが、一体何を見ているのでしょうか？新しい時代の先行きが分らずキョロキョロ、様子をうかがっているようです。

④ 「循環・メビウス」



後藤良二

手足をつないで回転する3人の女性像。それぞれ上半身と下半身で素材を変えています。アルミ鋳造とステンレス板積層です。これにより柔と剛を持った像となっています。女性の体は少しずつひねられ、一周する間に半回転します。表が裏に、裏が表に連結するメビウスの輪の構造となっていて、時間や空間的な無限の広がりを表現しています。

⑤ 「メッセージ」



二口金一

寒風の中の生活を描く「北国シリーズ」の作品で、3人のマント姿が3様の動きをみせていますが、なぜか一体感があります。顔の表情が省略されているので逆に想像力をかき立てられます。厳しい世の中で力を合わせて生きていく姿が不思議なエネルギーを与えてくれます。

⑦ 「 Rond」



黒川晃彦

道行く人が思わず振り返り、見つめる作品です。ベンチに座ったサクソフーンを吹く人物像は、作家が日本各地に足跡を残しています。サクソフーン奏者、フルートを吹く女性、猫からなる「Rond」は不思議な空間を醸し出します。思わずベンチに座って仲間入りしたくなります。夜のRond、サンタクロース姿をしたRondと色々な表情が楽しめます。

⑨ 「渡辺祐策翁像」



朝倉文夫

渡辺祐策は宇部村の教育、上下水道、港湾などの社会基盤を整備した、発展の礎を築いた人物です。また宇部興産株式会社の創業者でもあります。作家は多くの動物像や有名人の肖像・銅像を手がけています。この像がつくられた昭和10年代は「犬養毅像」、「菊五郎・團十郎像」などを制作しています。

⑥ 「SEED 増殖」



伊藤憲太郎

鏡面仕上げされた上下の球はそれぞれ人を、風景を映します。近寄って自分がどう映るか、どのような景色が見えるのか、楽しんでください。タイトルの「SEED」は、種が芽を出し、成長し、大きく育つことを意図しています。作家によれば、次の世代の生命を内在し、地面にしっかり根を下ろし、天空目指して成長する、希望に溢れる姿を表現しているとのこと。

⑧ 「飛び石」



福岡道雄

小さな作品ですので、近寄って見てください。楕円形の表面には無数のさざ波が立っています。そこには十数基の飛び石が並べられ、中央に飛び石をわたる人物がいます。心の中にしまっていた昔の情景が思い起こされます。作家は近年、こうした自己の内面の情景化に取り組んでいるとのこと。

⑩ 「双極子」



多田美波

照明デザインの分野でも活躍してきた作家は、光の魔術師と言ってもよいほど透過光や反射光の扱いが抜群です。この作品では、円形の鏡面ステンレスを底辺に、両側から二枚の湾曲したガラス板を錐状に合わせて、雲や周囲の景色、そして自分自身の姿を複雑に映し出します。光の魔術により出現した新たな世界に誘われます。

ときわ公園の彫刻で遊ぼルート “二人で満喫！ゆっくり散策MAP”

今度の休日は大切な人と一緒に彫刻散策をしませんか？
大学生の視点から楽しく鑑賞できるものをピックアップしました。
次のデートはぜひときわ公園で！ 時間があれば植物館もぜひ！

【スタート地点】ときわ公園東駐車場、【所用時間】約1時間



【作品紹介】

① 「Our Love」



富長敦也

「Love Stone Project」って知ってますか？
ハート形の石を皆で一緒に磨く活動です。
「触れること」、「人々と交わること」が目的の活動ですが、石に宿る原始的なエネルギーや古くから聖杯に起源をもつハートに触れる機会を提供する奥の深い活動なのです。ぜひ一緒に触れて、心で感じて！

② 「ロッキング・ドール」



関正司

風で動く作品で、作家によれば風と一体で一つの作品になる、とのこと。不思議な魅力をもつ女性像です。波形にふちどられた裾部は台座から少し持ち上げられていて、ここに風が吹き込むと、底部の球面が移動し、わずかに揺らぐように工夫されています。
逆立った髪と顔の表情が独特で、インスタ映え作品の上位にランキングされています。

⑤ 「PONKO 94」



本郷重彦

風で動く、帆船を思わせる彫刻です。帆の代わりに風車があり、12mの上空で風をうけて多方向に動きます。大空を航空する様はロマンがあり、見飽きることがありません。
長く続いてきた作家のPONKOシリーズの新境地を示す作品です。

⑥ 「宇宙の風景 I」



楠田信吾

ガラスと石の組み合わせで視覚的な緊張感を与える作品です。この作品は横6mに広がる3枚の強化ガラスを、巨石のあいだに立ててはさみ込んだ作品で、ガラスの上に巨石がどっかとのっています。巨石とガラス、重量と脆弱さとの危ういバランスが、透明ブルーのガラス越しに見える風景をいっそう緊迫した風景に創り変えています。

⑦ 「杜」



永廣隆次

タイトルの「杜(もり)」は、神社の「鎮守の森」とか「人工林」という意味があるそうです。錆のある構造物が大地から大木のように立ち、上部は小枝が重なっているようです。
アーチをくぐり、「杜」を体感してみてください！

⑧ 「Sin」



外磯秀紹

タイトルの「Sin」は、数学のサイン。幾何学的な構造が生み出す自然や宇宙のエネルギーが感じられる金属彫刻です。
格子状のパターンの反復と集積によって構築された美しいパターンは、自然の中に巡る風、光や音などを取り込み、多様な表情を見せてくれます。

③ 「風になるとき」



西野康造

風で動く彫刻です。わずかな風にも敏感に反応して、なめらかに翼が羽ばたきます。トンボの羽根のようにも、鳥の羽根のようにも見えます。チタニウム合金でできた羽根は光を反射して輝き、錆のある脚部分は大地に根ざしています。作家によれば、「鳥の羽ばたきとかがやきを借りて、風に、そしてもっと大きな空になってみたい」といつも思っている」とのこと。

④ 「PERMUTATION」



ビョートル・ツフォルドフスキー

彫刻を一周してみると、異なる造形物が出現し、驚かされます。タイトルは「順列」。作家は、かたちの流動性や連続性や量塊を変形することで、順列の典型的な特徴を表現した、と言っています。
作者が順列で意図するところはさておき、いろんな角度からみてみると怪物が変身していくようで面白いです。

⑨ 「空をみんなで眺める」



志賀政夫

公園の中に置かれたステージに20脚の椅子があります。
どうぞ、お座りください。
空をみんなで眺めましょう。
時がゆっくりと流れていきます。
忙しさを忘れてしまうでしょう。

⑩ 「重力飛翔一はるかかなた」



佐藤慈男

自由に乘って、大空を羽ばたきましょう。子どもたちから飛行に興味を持ちつづけ、空へ羽ばたきたいと思う心を持っているはず。この“想い”を形象化した作品です。たまご形の石の上にへばり付き、重力を振り切って飛ぶ姿を想像すれば楽しいいっぱい！

ときわ公園の彫刻で遊ぼルート “親子で散歩MAP”

家族でお出かけ？ そうだ、ときわ公園へ行こう！
幼稚園から小学生くらいのお子さんや家族連れが楽しめる
彫刻を集めました。見て、触って、中に入って…彫刻を身体
全体で感じてください！
さらに動物園、植物館、遊園地など遊ぶところ満載！

【スタート地点】ときわ公園中央駐車

【所用時間】約1時間



10

民話桃太郎の鬼の祖先らしい。
見ると今にも歩きだしそう！

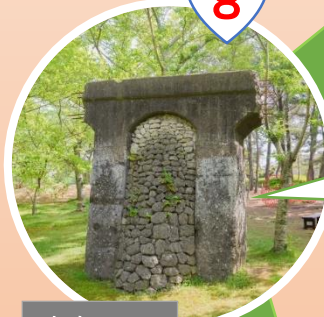
温羅
西平孝史



ジブリの世界のよう！

9

時の木もれ陽
橋本真之



8

コンクリートに触ってみよう！
どんな感触？
橋の一部が使ってあるらしい…

底流
土屋公雄



7

標的と人
広井力

中に入って見上げてみよう。
星がたくさん！



6

森の掟
伊藤嘉英

穴の中に入って遊ぼう！



5

蟻の城
向井良吉

真っ赤な姿と一緒に
丘の上で日向ぼっこ……
宇部彫刻のシンボルです！

一番前のドアから入れます。
乗客は自分ともう一人…？



4

深夜バス
中出武彦



3

Storage of
celestial mechanics
Hans SCHOHL



2

時のシルエット
新宮晋

真っ白な姿が
映えるシャッター
チャンスを逃さないで！



1

蜘蛛のいと
藪内佐斗司

中をのぞくと有名な小説
の世界が広がる
一匹だけこちらを見ている
餓鬼を探してみよう！



【作品介绍】

① 「蜘蛛のいと」



藪内佐斗司

外から見ると何の変哲もないドーム。通りすぎないで中を覗いてみてください！別世界が出現します。芥川龍之介の小説「蜘蛛の糸」をモチーフとして、蜘蛛とその糸に群がる人物(子ども)を配置した作品です。蜘蛛の糸が張ってある窓から陽光が差し込めば、天国と地獄の物語がリアルに演出されます。物語を構成する68体は、木彫の原形をブロンズで鋳造したものです。

② 「時のシルエット」



新宮晋

湖に立てられた9本の帆が風で動きます。それぞれが水平に回転するのですが、回転速度に大きな差が生じるよう工夫されていて、複雑な動きが楽しめます。回転する帆の隙間から、背景の湖水や対岸の緑、青い空が現れては消えます。自然の景色の美しさを再認識させられます。作家によれば、この作品には地球の美しさとエコロジカルなメッセージを込めている、とのこと。

⑤ 「蟻の城」



向井良吉

宇部市民なら誰でも知っている記念すべき彫刻です。ときわ公園UBEビエンナーレ彫刻の丘の中心部に四十数年たった今も常設されています。作品は、1962年に宇部市が「宇部」をテーマに五人の作家に模型制作を依頼した際、唯一実物大で制作された最初の野外彫刻なのです。作家によれば、自宅の庭でつけたアリの巣と戦争体験から着想を得た、とのこと。

⑥ 「森の掟」



伊藤嘉英

ドームは鬱蒼と茂る森をイメージしています。中に入ると木漏れ陽が差し込む森の中を体験してみてください。見上げると差し込む光の別世界が出現します。作品は、銅で制作され硫化仕上げされていますので、長い年月をかけ緑青が付き始め森に変化していきます。「掟」とは何なのでしょう？

⑦ 「標的と人」



広井力

蟻地獄を意図した作品のようですが、意外や子ども達の遊び場になっています。中でグルグルと走り回って遊ぶのが楽しらしい。作品は、1969年、ベトナム戦争が泥沼化した頃に制作されたものです。蟻地獄と中に落ちた人を意図して制作したものと思われます。24枚のアルミ板を地中に傾斜させながら漏斗(じょうご)状に円型に達ませた作品です。

⑧ 「底流」



土屋公雄

市内真綿川の河口にあった老朽化した橋脚と、その間に詰め込まれたコンクリートの粉砕材から構成された作品です。経年変化した時間の重みを残しつつ、任意なかたちに再構成したものです。元々、水の流れていた橋脚の間を粉砕材で塞いだのは、蓄積された時間が流れ出さないようにするためだ、との解釈があります。

③ 「Storage of celestial mechanics」



Hans SCHOHL

重厚で、錆びた塔のような三軒の鉄の家の中にぜひ入ってみてください。内側に仕掛けが施されていて、暗闇の中、動く影が屋根の内側に写し出され、しかけと影が絶えず変化します。三軒、それぞれ異なる仕掛けがあります。影とは特異な存在で、実体はないものの、現実性や元の姿は保たれているので不思議な存在となります。

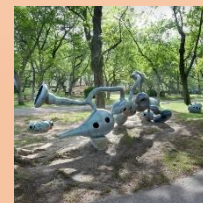
④ 「深夜バス」



宇部市
Landscape Urban-321 中出武彦

深夜バスに皆さん、何かしらの思い出があるのではないのでしょうか？作家によれば、夜のバスの青白い光や淋しいイメージに妄想が膨らみ、乗客乗員に勝手な思いをはせてしまうとのこと。また、おなじみの箱型のクルマを彫刻作品にすることによって、不思議な違和感の光を放ち、「美術になんか全く興味ナシよ！」という人々の心を引きよせられればと思います、とのこと。

⑨ 「時の木もれ陽」



橋本真之

木もれ陽を浴びて不思議な輝きをみせる作品です。作家は近年、樹木や植物の成長と銅版を打ち延ばした物体との共棲を目指した作品づくりをしているとか。この物体は植物の根なのか、蔭なのか、いずれにしろいつか周囲と一体化するでしょう。ところどころに空いた大小の穴から木もれ陽が内部まで射し込む様は見る価値があります。

⑩ 「温羅」



西平孝史

室町時代につくられた民話「桃太郎」の鬼のルーツとも言われる温羅(うら)をモチーフにした作品。制作中に、ダビデ像や仁王像、仏を守る神の立像や横綱の姿が浮かんだとか。雄々しい姿で今にも一歩踏み出しそうです。生きる気迫が感じられる作品です。

(もう一つの楽しみ方)

～各地へ羽ばたく野外彫刻～

UBEビエンナーレは、1961年「第1回宇部市野外彫刻展」として始まり、現在(令和元年時点)まで途切れることなく続いています。世界的にみても類がない野外彫刻展で、宇部市の貴重な文化であり、市民交流の場です。



ときわ公園UBEビエンナーレ彫刻の丘
(ビエンナーレ展示会場)

UBEビエンナーレで認められた作家は、その後国内外で活躍しておられます。

(もう一つの楽しみ方)

国内の各地に同じようなコンセプトで制作された作品があり、地域の伝統・文化や風景と一体となって個性のある作品の表情が現れます。

野外彫刻の追っかけをしてみませんか？

訪れた地域では作品の表情や自然を発見する楽しみがあります。併せて観光、食など楽しい多美(たび)になるでしょう。

ここではそのような作品を宇部市の野外彫刻と対比して紹介します。

黒川晃彦氏の作品を巡る多美(たび)(一部)



宇部市「ロンド」
ANA クラウンプラザ前



旭川市「サキソフォン吹きと猫」
旭川駅前
(旭川市提供)



福岡市「プリーズ・リクエスト」
福岡市役所前

(画像提供: 福岡市)

その他の多美(たび)(一例)

- ・北海道虻田町洞爺湖「湖畔にて」
- ・秋田県横手市秋田県立美術館「フラワーソング」
- ・仙台市七北田公園「晴朗な日々」
- ・群馬県館林市多々良沼公園「プリーズ・リクエスト」
- ・埼玉県北本市北本駅西口通り「アルトサキソフォンを吹くひと」
- ・東京都府中市府中公園「木陰にて」
- ・岐阜市県立図書館「ワン・モア・タイム」
- ・神戸市中央区北野広場「プリーズ・リクエスト」
- ・広島県呉市入船山市立美術館通り「切り株に座って」
- ・長崎市銅座町長久橋南「安息の日」

西野康造氏の作品



ときわ公園 「風になるとき」(1997)



港都KOBÉ芸術祭 「風になるとき2017」

新宮晋氏作品



ときわ公園 「時のシルエット」(2003)

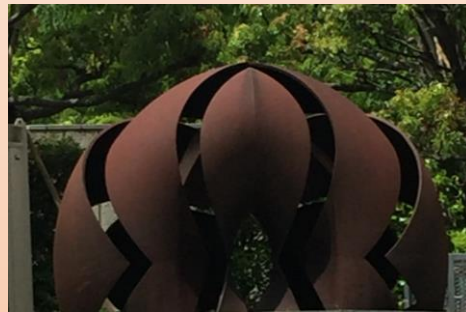


港都KOBÉ芸術祭 ウインドキャラバン

永廣隆次氏の作品



ときわ公園 「森」(1985)



東京都庁 「雲」(1991)

佐藤圭一氏の作品



旧吉部小学校
「じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった」
(2013)



六甲ミーツアート
「空を見てたら涙が出ちゃいました」

土田隆生氏の作品



常盤通り 「アルウィン・ニコライの陽-〈眩驚〉」
(1987)



箱根彫刻の森美術館 「眩驚-V 風韻」

植松奎二氏の作品



宇部市東岐波国道190号沿い
「呼吸するとき-傾」(1993)



ファーレ立川 「浮くかたち-赤/垂」

富長敦也氏の作品



ときわ公園 「Our Love」(2013)



神奈川県足柄下郡真鶴町ケープ真鶴
「Love Stone(ラヴストーン)」
(真鶴町提供)

竹腰耕平氏の作品



ときわ公園 「宇部の木」(2015)



瀬戸内国際芸術祭2016「小豆島の木」

増田正和氏の作品



ときわ公園 「寄り添う座」(1976)



中之島緑道 「一対の座」

(国内を巡る現代アートの旅)

野外彫刻をまちづくりに活用している地域があります。また定期的に彫刻展や芸術祭を開催し、市民との交流を進めている地域もあります。いずれも現代アートと地域の自然・人との共生から生まれる、地域ならではの特色のある文化となっています。

自然の中で憩いと安らぎに満ちた別世界があなたを待っています。各地の現代アートを巡る、新しい発見をしませんか？



宇部市の「野外彫刻」について



1958年に宇部(現宇部新川)駅前に設置された「ゆあみする女」(複製)

はじまりは一体のレプリカから

宇部市は明治以降、石炭産業を中心にまちの基盤を築きました。戦後は工業都市として発展する一方、その代償として煤塵による大気汚染などの環境問題が深刻化します。そのなかで、生活空間を住みよいものへと変えていこうと、「緑化運動」や「花いっぱい運動」などの市民活動が始まりました。1958年、宇部市は花の種子を購入するために集められた基金の一部で一体の彫刻を購入しました。それを宇部駅(現在の宇部新川駅)前広場の噴水池に設置したところ、市民には大変好評でした。

その彫刻は、後の彫刻設置事業のきっかけとなった、ファルコネの「ゆあみする女」の複製品でした。やがて、手頃な作品を安易に設置するのではなく芸術性の高い彫刻を集め、青少年の教育や、若手芸術家の育成にも貢献しようという気運が高まりました。そしてついに、ときわ公園を舞台に、日本初の大規模な野外彫刻展「第1回宇部市野外彫刻展」(1961年)が開催されたのです。

現在、200点を超える彫刻が市内各所に設置されていて、宇部市そのものが野外彫刻美術館になっています。

宇部市野外彫刻とUBEビエンナーレの歴史と今

宇部市のまちを彩る野外彫刻と「UBEビエンナーレ」は、宇部市民が世代を超えて受け継いできた、まちの未来を育む財産です。

この世界に誇る大規模な野外彫刻展は1961年から2019年時点で通算30回、緑と花いっぱいのときわ公園内の湖水を望む「UBEビエンナーレ彫刻の丘」で2年に一度継続して開催されています。

UBEビエンナーレの歴史

回数	名称	開催年	展示期間
第1回	宇部市野外彫刻展	1961	7月18日～9月17日
第1回	全国彫刻コンクール応募展	1963	9月10日～11月5日
第1回	現代日本彫刻展	1965	10月1日～10月31日
第2回	現代日本彫刻展	1967	10月1日～11月5日
第3回	現代日本彫刻展	1969	10月1日～11月10日
第4回	現代日本彫刻展	1971	同上
第5回	現代日本彫刻展	1973	同上
第6回	現代日本彫刻展	1975	同上
第7回	現代日本彫刻展	1977	同上
第8回	現代日本彫刻展	1979	同上
第9回	現代日本彫刻展	1981	同上
第10回	現代日本彫刻展	1983	同上
第11回	現代日本彫刻展	1985	同上
第12回	現代日本彫刻展	1987	同上
第13回	現代日本彫刻展	1989	同上
第14回	現代日本彫刻展	1991	同上
第15回	現代日本彫刻展	1993	同上
第16回	現代日本彫刻展	1995	同上
第17回	現代日本彫刻展	1997	同上
第18回	現代日本彫刻展	1999	同上
第19回	現代日本彫刻展	2001	7月12日～11月11日
第20回	現代日本彫刻展	2003	10月1日～11月10日
第21回	現代日本彫刻展	2005	10月1日～11月13日
第22回	現代日本彫刻展	2007	9月29日～11月11日
第23回	UBEビエンナーレ	2009	10月3日～11月15日
第24回	UBEビエンナーレ	2011	9月24日～11月13日
第25回	UBEビエンナーレ	2013	9月29日～11月24日
第26回	UBEビエンナーレ	2015	10月4日～11月29日
第27回	UBEビエンナーレ	2017	10月1日～11月26日
第28回	UBEビエンナーレ	2019	9月29日～11月24日

第1回宇部市野外彫刻展



第28回UBEビエンナーレ



UBEビエンナーレの今

UBEビエンナーレを通して築き上げてきた野外彫刻のコレクションは現在、約200点に及びます。ときわ公園を中心に、市内広域に設置されており全体として巨大な美術館として楽しむことができます。

UBEビエンナーレの最新の作品は、展示会期中「UBEビエンナーレ彫刻の丘」で楽しむことができます。また、これまでの出品作品の写真や動画等でアーカイブを紹介する「UBEビエンナーレライブラリー」や、通年で企画展等を開催する「ときわ湖水ホールアートギャラリー」が園内に設置されています。

UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)開催の流れ

初年度

作品公募
出品申込書と模型作品
(約1/10スケール)

1次審査
約40点の入選模型作品を選考
その中から実物制作作品を選出

**UBEビエンナーレ
応募作品プラン展**
全応募模型作品の展示

次年度

**実物制作作品の
搬入・設置**

2次審査
入賞作品の選出

UBEビエンナーレ
野外彫刻作品(実物)の
展示会

UBEビエンナーレ彫刻の丘



世界でもっとも歴史がある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」の展示会場です。2年ごとにUBEビエンナーレの最新作を鑑賞することができます。また、ときわ公園周遊道路沿いには歴代の出品作品が常設されています。



ときわ公園MAP

UBEビエンナーレライブラリー

野外彫刻ビジターセンター

「みる・よむ・つくる」をテーマに「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」の歴史や市内の彫刻について、写真やパネルで紹介。また、過去の図書や各種出版物などアート関連書籍や出品作家の関連資料を閲覧でき、ペーパークラフトや彫刻ぬりえなど、季節ごとに簡単な工作を楽しむことができるコーナーが常設されています。



ときわ湖水ホール アートギャラリー



宇部市が所蔵する柳原義達・向井良吉の彫刻コレクションの展示をはじめ、年間を通じて様々な企画展・ワークショップを開催。子供向けのアートルームも併設しています。

おいでませ！宇部市へ

宇部市は自然とアートと産業のバランスのとれた、面白いところです。
市内のいたるところに美しい自然とおおらかな人達に調和した野外彫刻がさりげなく置かれ、まち中アートミュージアムとなっています。特に東洋のレマン湖ともいわれている「常盤湖」が中心に位置する「ときわ公園」は、緑と花と彫刻がいっぱいの自然ミュージアムです。

「現代アートを巡る多美(たび)」は、現代アートと自然の美しさを感じながらウォーキングを体験する楽しいものになっています。できれば1泊してスポットライトを浴びた夜の彫刻も楽しんでいただきたいと思います。

宇部市や近郊でとれる美味しい食材をつかった「A級グルメ」や「B級グルメ」が夕食のひとつを充実したものにしてくれます。現地の食材をリーズナブルな値段で提供しています。

宇部市は産業と共存しています。市内に空港があり、新幹線の駅から車で約40分とアクセスがよく、海と山に挟まれた災害の少ない、穏やかなところ です。工場夜景や産業観光もあり、「住みたい田舎」ベストランキング(2020年版宝島社[田舎暮らしの本])総合部門で1位となったさまざまな魅力があります。観光によし、移住するによし、仕事するによし、そんな宇部市においでませ！



ときわ公園



【宇部市ときわ公園へのアクセス】

- ▶ 飛行機でお越しの場合
山口宇部空港～ときわ公園:タクシー 約8分
- ▶ 新幹線でお越しの場合
新山口駅～ときわ公園入口:市営バス特急 約30分
- ▶ JR宇部線でお越しの場合
常盤駅～ときわ公園:徒歩 約15分
- ▶ 車でお越しの場合
宇部ICから約15分

【宇部市街地へのアクセス】 ときわ公園～市街地:タクシー 約15分